

# キラリ★プロの目

私はこうして  
電気事故を防いだ!



## 浸水にご注意を!! 前年度との数値比較で事故を未然に防止!!

点検対象	商店	点検地区	雄武町
キラリポイント	年次点検実施時に高圧ケーブルの絶縁抵抗測定を実施したところ、絶縁抵抗値が前年度の100,000MΩから5,000MΩと、急激に低下していました。外観点検実施の結果、塩分を含んだ水の浸入跡およびリーク跡を発見しました。		

### ■現場の状況と対策

この原因としては、屋外のケーブル端末部から浸入した水が、年月の経過とともにキュービクル側ケーブル端末部まで伝わってきたことが予想されます。また、この地域は塩害発生地域で浸入した水に塩分が含まれていたため、ケーブル表面にリークが発生したと考えられます。

このままの状態で使用した場合、高圧地絡事故発生の可能性があり、その場合高圧ケーブルが135m（地中埋設）と長い場合、復旧に多大な時間を要する可能性があることから、早急に設備を改修されるようおすすめしました。

▼高圧ケーブル(リーク跡)



### ■技術者からのワンポイントアドバイス

前回点検時には水の浸入跡を確認できなかったことなど、外観点検だけの不良判断は難しい場合もあるため、年次点検時の絶縁抵抗値など、過去の測定データと比較して総合的に設備状況を判断することが必要です。

また、今回の高圧ケーブルは使用年数が26年と更新推奨年数を超過しており、定期的な設備更新も重要ポイントのひとつとなります。(当協会の高圧ケーブル更新推奨年数は20年です。)

紋別事業所  
松浦 由弥